

鳥取まいぶん講座 中世城館特集

鳥取県埋蔵文化財センターでは、県内の中世城館の調査研究を行っています。

昨年度から行っている西因幡の山城調査に続き、東因幡の動向について、県内の研究者をお招きして最新の研究成果をお届けします。

第7回 12月19日(土)

戦国期における岩美・八頭郡の主な歴史と関連城郭

～奉公衆を中心に～ 講師：中世史・城郭研究者 高橋正弘氏

※詳しくは裏面をご覧ください。

会場 **国府町コミュニティセンター** ※埋蔵文化財センターから変更となりました

〔鳥取市国府町庁 380 電話 0857-24-1642〕

定員 (調整中)

時間 午後1時30分～午後3時

申込期限 各講座の前日まで

(先着順、定員になり次第締切、定員まで余裕がある際は、当日参加可)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取った上で実施します。接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードをお願いします。当日は、体調の悪い方の御参加は御遠慮いただくとともに、マスク着用をお願いします。

◎申込み方法

①鳥取県埋蔵文化財センターホームページのイベント・講座等申込みフォームから
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>)

②電子メール maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

③電話 0857-27-6711

④ファクシミリ 0857-27-6712

※いずれも、御希望の回又は日にちと、参加される方の氏名、連絡先をお知らせください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、予定を変更することがあります。



鳥取県埋蔵文化財センター

680-0151 鳥取市国府町宮下 1260

電話 0857-27-6711 FAX 0857-27-6712

開館時間：平日 午前9時～午後5時

※企画展示期間中の第1・3土曜日は、午後開館(午後1時～5時)

戦国期の岩美・八頭郡の歴史でこれを知っていれば講演がより面白くなります！

旧因幡部における平成の大合併では、岩美郡の岩美町と八頭郡の多く、智頭郡智頭町とが鳥取市との合併を選択せず、独立存続の道を選びました。

実は、今から500年前の因幡では、それとほとんど同じ行政区分図が存在していた、と言うのですから驚きます。

中世戦国時代は、江戸時代に池田氏が因幡・伯耆全体をまとめたような一円知行ではありませんでした。

特に他の地域に比べて、岩美と八頭には、由緒正しき家柄の者の多くが、幕府から奉公衆（將軍の護衛・親衛隊）に任じられていました。奉公衆は身分上、守護とは対等の地位を与えられ、法的にも手厚く保護されていました。旧巨濃・八東郡には、そうした奉公衆が肩寄せ合うように基盤地をもっていました。

特に八東郡を地盤とする奉公衆は、守護の支配下に入る事を嫌う、独立心旺盛な者たちで、奉公衆相互が団結し、守護権力に刃向かう歴史を長く繰り返しました。

このため、因幡守護の山名氏や因幡山名を滅ぼして進出した但馬山名氏、これと決別した武田高信も彼らとの対決に苦心することとなり、結局は戦国大名としての道が塞がれてしまいました。

今回の講座は、奉公衆の動向から中世戦国時代の歴史を見つめ直し、奉公衆の城から、更なる拠点城郭への進化を考えていこうとする試みです。

講師は、中世史研究家で、委嘱を受けて岩美町の城を悉皆調査され、八頭郡の城も独自に踏査されており、聞き取りやすく、一般にも分かりやすく説明されると定評のある高橋正弘氏です。

中世戦国時代の因幡の歴史、因幡の城を考えるのに又とない講座です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【取り上げられる山城】

- 岩美町蒲生 : 半瀧城
- 岩美町延興寺 : 姥ヶ谷城
- 岩美町本庄 : 道竹城
- 旧国府町山崎 : 山崎城
- 旧国府町雨滝 : 七曲城
- 旧郡家町市場 : 私部城
- 旧八東町北山 : 鷹山城
- 若桜町若桜 : 鬼ヶ城

巨大な曲輪や堀切がある
鷹山城（旧八東町）

